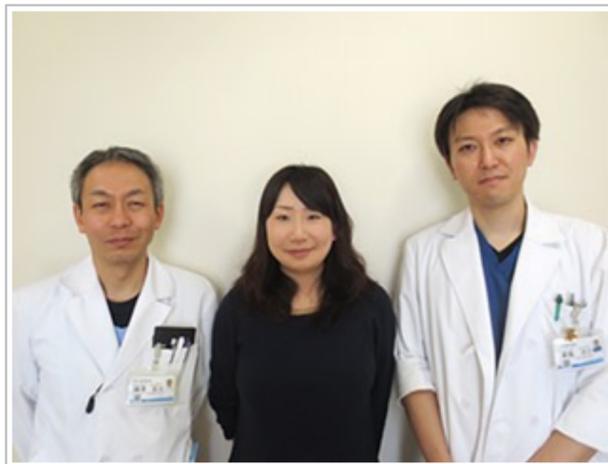


神崎 成子 先生 (2016年 入局)

私は研修医となったときに、一人の患者さんの初診から検査、病状説明、また治療や日常生活の支援などの一連の診療の流れの中で、悩みながらも患者さんと共に病気と闘っていくという点に医師の仕事のやりがいを感じていました。

様々な科をローテートする中でも、泌尿器科ではその診療の流れを一貫して担うことができたため魅力を感じました。また男性だけでなく、泌尿器科疾患を抱えた女性が数多くいることを知り、私は女性として少しでも頼りにされる存在になりたいと思い、また内科的治療も外科的治療もカバーする泌尿器科で研修を積めば、地域医療も担う上で大切な総合診療の力も身につくと考えたため泌尿器科を選びました。

岩手医大泌尿器科は若手医師の育成にとっても力を入れている医局です。私は地域枠奨学生のため、義務履行の中でどうキャリアアップしていくか、また女性医師として家庭を持ちながら仕事をしていくことに不安を抱いていましたが、医局の先生方がとても親身になってキャリアプランを一緒に考えてくださり、今後のモチベーションにもつながりました。進路に悩んでいる皆さん、一緒に泌尿器科での将来を考えてみませんか。



阿部 正和 先生 (2016年 入局)

岩手県立大船渡病院での初期研修を終えて泌尿器科に入局させて頂きました阿部正和です。私は社会人大学院には所属せず、臨床研修で実際に色々な科を経験してから入局先を決めようと思っていました。そして、最終的に決定したのが泌尿器科でした。

入局決定の理由としては、①感染症、腫瘍、幅広い外科手技（膀胱鏡、開腹、腹腔鏡、ロボット手術等）、排尿障害、移植、透析など、カバーしている幅が広い事、②岩手県の現状として泌尿器科医のニーズが非常に高い事、③小原教授や大船渡病院氏家副院長を始め、お世話になった上司が魅力的だったこと等が挙げられます。

初期研修医として感染症、輸液、癌患者のケア等、幅広く勉強した後に専門科に進むので、それが活かせる科に進みたかった事に加え、外科手技もある科が良かったので、泌尿器科はその点でマッチしていました。また、私は岩手県の奨学生なので、県立病院でも幅広く活躍出来る泌尿器科に魅力を感じました。そして、私がお世話になった先生方はとても後輩の面倒見が良く、熱い、楽しい先生方でした。

今研修医や学生で将来の進む先で色々悩んでいる方がいたら、ぜひ泌尿器科を一つの候補に考えて頂ければと思います。

石井 修平 先生 (2016年 入局)

泌尿器科の診療範囲は多岐にわたり、尿路結石・排尿障害などの良性疾患から腎癌・膀胱癌・前立腺癌などの悪性疾患まで多種多様な疾患の診療を行えます。腎移植・血液透析・腹膜透析といった腎代替療法についても岩手県では主に泌尿器科が診療にあたっております。岩手医科大学泌尿器科ではこれらの診療を全て行っており、その守備範囲の広さが大きな魅力と思い入局を決めました。

高齢化社会を迎え、排尿障害を抱える患者さん、がん患者さん、腎代替療法の必要な患者さんがこれからますます増えてくるのが予想されます。これらの医療が必要な、岩手県の患者さんが安心して生活できるよう頑張りたいと思います。

また医学生の皆さん・研修医の先生で進路に迷っている先生には、是非とも泌尿器科を一度ローテートしていただき、その魅力に触れてもらいたいと思います。泌尿器科は外科系・内科系の魅力を兼ね備えた科です。是非ともいちど、岩手医科大学泌尿器科学講座へ足を運んでいただければと思います。



高山 美郷 先生 (2016年 入局)

岩手医科大学泌尿器科の特徴と魅力は、腫瘍・腎移植・排尿障害・血液透析など幅広い分野を扱い、外科的治療から内科的治療を行えることです。ひとりの患者さんを診断から治療まで一貫して診察できることは医師として非常にやりがいのあることだと考えます。

泌尿器科医は男性医師の仕事というイメージが強いかもしれませんが、そんなことはありません。女性泌尿器疾患を有する患者さんは、羞恥心より男性医師のもとへは受診しづらく治療をないがしろにしてしまったり、他科受診をしてしまう例も少なからずあると思います。女性医師はそのような悩める患者さんを診察するうえで強みがあると考えます。

私が本学泌尿器科へ入局を決めた理由は、皆で若手医師を育てようという医局の雰囲気があり、学位取得や留学といった進路も考えてくださるからです。興味のある方や、進路を悩んでいる方は是非医局に足を運んでみてください。泌尿器科は今後もますます発展する分野です、私たちと一緒に働きましょう！



塩見 叡 先生

私が岩手医科大学の泌尿器科に入局した大きな理由の一つとしては、医局の雰囲気や先生方にあります。

先生方は学生の指導に大変力を注いでおり、ポリクリやスーポリで泌尿器科を回った際にも、とても熱心に指導して下さり、泌尿器科の楽しさを沢山教えて頂きました。また学生思いで親身になって様々な相談にも乗ってくれます。

こんな科は他にはあまりないです！

また、泌尿器科では、内科分野も外科分野も両方できることもその魅力です。なので、外科も内科もしたい人や、外科系に興味ある人、内科しか今は考えてない人、何も考えてない人、そんな人は一度でも二度でも医局に遊びに来て下さい。医局の雰囲気も含め、私が言っている意味が、きっとわかるはずです。まずは、臨床実習を通じて泌尿器科の楽しさを存分に感じてみて下さい！

楽しい雰囲気の中で一緒に泌尿器科を盛り上げていきませんか！？

